

環境調査結果のお知らせ

令和7年7月31日11時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で130 cells/mL、タカヤマ属が340 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が懸念される100 cells/mL（警戒基準値）を上回りました。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。今後、シャットネラ属及びタカヤマ属はさらに増殖する可能性がありますので、引き続き注意してください。

また、すべての定点において表層水温が31℃を超えています。さらに、鳴無を除くすべての定点において底層が、中学校前及び福良では底層に加えて10 m層も貧酸素状態となっていますので、十分注意してください。

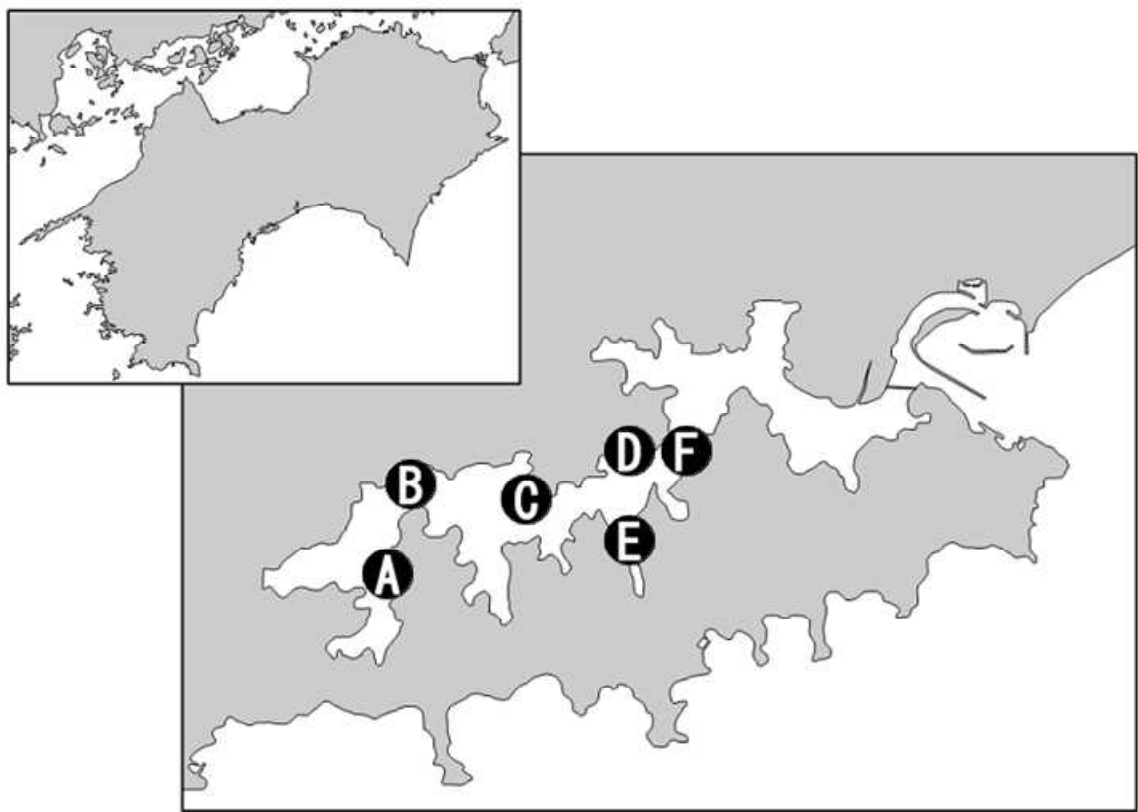
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)			
A 鳴無 (5.2m) 【11:28】	0	31.5	25.6	7.4	0	10	-
	2	31.4	27.7	7.6	0	20	-
	5	29.9	28.6	7.4	0	10	-
	底層 8.5	28.9	29.5	4.0	33	110	-
B 中学校前 (5.2m) 【11:36】	0	31.3	25.9	7.7	0	30	2,000
	2	30.9	27.8	8.7	1	140	660
	5	29.5	28.9	7.4	18	220	320
	10	28.4	29.9	1.7	17	100	280
	底層 12	27.8	30.4	0.3	4	20	50
C 目ノクソ (4.4m) 【11:44】	0	32.0	25.4	8.0	0	50	-
	2	30.6	27.2	8.3	0	160	-
	5	29.6	28.8	10.1	118	30	-
	10	28.5	29.7	3.6	7	0	-
	底層 15.5	27.2	30.8	0.6	0	0	-
D 光松 (3.5m) 【12:11】	0	31.2	26.5	8.0	1	30	2,100
	2	30.5	27.7	8.1	10	120	1,450
	5	29.6	29.1	7.0	19	120	220
	10	28.7	29.8	4.0	0	0	200
	底層 16.5	27.4	30.7	0.1	0	0	20
E 福良 (3.7m) 【11:55】	0	32.6	27.2	8.1	0	60	-
	2	30.9	28.2	9.6	130	340	-
	5	29.4	28.9	7.8	113	320	-
	10	28.7	29.5	2.4	13	0	-
	底層 11	28.5	29.6	1.6	3	0	-
F 大鹿 (3.2m) 【12:18】	0	31.1	26.6	8.1	0	60	-
	2	30.3	28.0	8.2	5	90	-
	5	29.6	29.1	6.6	4	40	-
	10	28.8	29.8	4.8	0	0	-
	底層 16.5	27.1	30.9	0.1	0	0	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 福良
- F: 大鹿